

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0014

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月7日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 土捨て場南側新設廃棄物施設向け接地幹線新設工事								
	発生場所	H5.6エリア			2019/9/25	2019/9/25	2019/9/25			
	作業主管G	設備電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/21	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材	A	03	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0017
				2019/9/25
調整後保管日時		2019年10月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/7 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0014

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F 土捨て場南側新設廃棄物施設向け接地幹線新設工事							
	発生場所	H5, 6エリア						2019/9/25	2019/9/25
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/9/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号
							F1-ICWBL-12		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③					$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0018
				2019/9/25
調整後保管日時		2019年10月8日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-115	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 9:50	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0066

作 業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-IPCVガス管理設備空調機取替工事									
	発生場所	2, 3号機 T/B 2F オペフロ						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26	
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-90	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.1 mSv/h	0.2 mSv/h	β有	10 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	3	不燃その他	B	10	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	4	塩化ビニール類	B	05	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	5	保温材	B	06	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	機器類・制御盤類, 金属ガラ, 塩化ビニール類 β汚染有										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0029
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICW	F1-ICW-393
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類	5 μSv/h	80 μSv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:50	3 m <sup>2</sup>		FU-00183G	1
	2	1	金属ガラ	5 μSv/h	150 μSv/h	500 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:50	1.5 m <sup>2</sup>		FU-00183G	1
	3	1	不燃その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/9 9:50	0.2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	塩化ビニール類	5 μSv/h	200 μSv/h	17 mSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:50	0.5 m <sup>2</sup>		FU-00142	1
	5	1	保温材 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPi(屋外)	2019/10/9 9:50	0.1 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ FU-00183G表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=60 μSv/h, β+γ線量率=60 μSv/h  
FU-00142表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β+γ線量率=40 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.01	m <sup>3</sup>	0.15	$\mu$ Sv/h	0.35	$\mu$ Sv/h	無	
	7							m <sup>3</sup>						
	8							m <sup>3</sup>						
	9							m <sup>3</sup>						
	10							m <sup>3</sup>						

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	10	—	0029

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/9 10:00	0.01	m <sup>3</sup>			2
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05
			06	—	07	—	08
B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	15		
	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05		
D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	04	05		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0055

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	10:30		承認	審査	作成				
	作業件名	3号機 PCVガス管理システム抽気配管勾配調整											
	発生場所	2, 3号機 T/B 2F オペフロ						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26			
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-90			
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③									
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	2	難燃シート類	C	02	D	B	0.4 m <sup>2</sup>	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	$\beta$ 有	0.15 mSv/h	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.01 m <sup>2</sup>	0.15 $\mu$ Sv/h	0.35 $\mu$ Sv/h	0.35 $\mu$ Sv/h	無		
5						m <sup>2</sup>							
メ モ	難燃シート類 $\beta + \gamma$ 線量率 0.15 mSv/h												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0030
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-6	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/9 10:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	難燃シート類	5 $\mu$ Sv/h	200 $\mu$ Sv/h	12 mSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:55	1 m <sup>2</sup>		FU-00142	2
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/9 10:30	0.28 m <sup>2</sup>			1
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/9 10:30	0.01 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ No.2の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$ Sv/h, 表面線量率=40  $\mu$ Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=40  $\mu$ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D: 乾燥, W: 湿気有		③	履 歴	A: 「1F構内にあった物」, B: 「工事のために持ち込まれた物」					
D: 乾燥, W: 湿気有				A: 「1F構内にあった物」, B: 「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0031
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアG	2019/10/9 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ			B 02 D B	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0032
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/9 8:55	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0033
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-KWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/9 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	G4南エリア					2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0034
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/9 10:45	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア				2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ(鉄筋のみ)	B	01	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0035
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/10 8:00	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年10月10日	(木)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	G4南エリア			2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号
							F1-KWBL-139
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
			①	②	③		β・α 汚染の有無
	1	金属ガラ(鉄筋のみ)	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>
2						m <sup>2</sup>	
3						m <sup>2</sup>	
4						m <sup>2</sup>	
5						m <sup>2</sup>	
注:10tダンプ車にて持参します。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0036
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/10 9:00	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/9/26	2019/9/26	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ(鉄筋のみ)	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0037
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-KWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/10 10:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2019/9/25		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0039
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/11 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6013803 - 0028										
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年10月11日 (金)				9:00		承認		審査		作成												
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																						
	発生場所		G4南エリア										2019/9/26		2019/9/26		2019/9/26								
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員				TEL														
	元請会社						担当者				TEL														
	線量測定年月日		2019/9/25		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-KWBL-139										
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率								
	1		コンクリートガラ				① ② ③		5 m <sup>3</sup>		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無										
	2								m <sup>3</sup>																
	3								m <sup>3</sup>																
4								m <sup>3</sup>																	
5								m <sup>3</sup>																	
注: 10tダンプ車にて持参します。																									
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.		
	1		1		コンクリートガラ①		5 $\mu$ Sv/h		5 $\mu$ Sv/h				エリアC		2019/10/11 8:40		5 m <sup>3</sup>						1		
																	m <sup>3</sup>								
																	m <sup>3</sup>								
																	m <sup>3</sup>								
																	m <sup>3</sup>								
																	m <sup>3</sup>								
																	m <sup>3</sup>								
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
	メ モ																								
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類				02 プラスチック・ポリビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05 -				
					06 -				07 -				08 -				09 -				10 -				
			B 不燃物		01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類				
					06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他				
					11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 石綿含有物(はつり屑等)				14 -				15 -				
			C 難燃物		01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 -				
					01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 -				04 -				05 -				
			D 伐採木																						
			② 状態		D:乾燥, W:湿気有				③ 履歴				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」												
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																									
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																									
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																									
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年10月11日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所		G4南エリア						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社						担当者		TEL		
	線量測定年月日		2019/9/25		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-139
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ		B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2							m <sup>3</sup>			
	3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>				
5							m <sup>3</sup>				
注:10tダンプ車にて持参します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0041
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容					
測定日	2019年10月11日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-6		
2					
3					
4					

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/10/11 9:35	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア						2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/25	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	コンクリートガラ		B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2							m <sup>3</sup>				
3							m <sup>3</sup>				
4							m <sup>3</sup>				
5							m <sup>3</sup>				
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0042
				2019/9/26
調整後保管日時		2019年10月11日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
1	1		コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2019/10/11 10:05	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年10月7日	(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/9/26	2019/9/26	2019/9/26			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							F1-ICWBL-74			
記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	伐採木(幹・根)	D	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0052
				2019/9/27
調整後保管日時		2019年10月7日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2019/10/7 8:30	5 m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事								
	発生場所	1F構外 坂下ダム導水管エリア					2019/9/27	2019/9/27	2019/9/27	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/9/26	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-067		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	7 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0055
				2019/9/27
調整後保管日時		2019年10月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/9 8:45	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥; W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事								
	発生場所	1F構外 坂下ダム導水管エリア					2019/9/27	2019/9/27		
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/26	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-067		
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	W	A	7 m <sup>3</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0056
				2019/9/27
調整後保管日時		2019年10月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/10/9 10:35	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・UIS類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0043

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年10月7日		(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F HTI,PMB,サイトバンカ地下スラッジ調査									
	発生場所	4号機タービン建屋他					2019/9/27	2019/9/27	2019/9/27		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/9/27		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ(2019FU-00134)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	2	金属ガラ(2019FU-00036)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
3	金属ガラ(2019FU-00023)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h	
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					

注:  $\alpha$ 有、 $\beta$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。No. 1,2,3は借用6m3コンテナにて廃棄、本管理表でコンテナ3台分の申請とする。  
外面: No1=0.02mSv/h, No2=0.02mSv/h, No3=0.02mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0064
				2019/9/30
調整後保管日時		2019年10月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00134)	5 $\mu$ Sv/h	500 $\mu$ Sv/h	500 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00134	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00036)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00036	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00023)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00023	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6012601 - 0008									
作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時		2019年10月7日			(月)		10:00			承認		審査		作成									
	作業件名		原子炉注水関連旧設備の除却																					
	発生場所		高台バッファタンクエリア										2019/9/30		2019/9/30		2019/9/30							
	作業主管G		原子炉冷却グループ					監理員				TEL												
	元請会社							担当者				TEL												
	線量測定年月日		2019/9/27		測定者				測定器名		ICW-BL		管理番号		1F-ICW-BL-98									
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無		$\beta$ + $\gamma$ 線量率									
			①		②		③																	
	1		PE管		C		04		D		A		4		m <sup>2</sup>		0.23 mSv/h		0.23 mSv/h		$\beta$ 有		0.75 mSv/h	
	2		ゴムホース		C		03		D		A		1		m <sup>2</sup>		0.23 mSv/h		0.23 mSv/h		$\beta$ 有		0.56 mSv/h	
3		廃プラ・ビニール		A		02		D		A		3		m <sup>2</sup>		0.23 mSv/h		0.23 mSv/h		$\beta$ 有		0.48 mSv/h		
4		木材・コンパネ・枕木		A		03		D		A		2		m <sup>2</sup>		0.23 mSv/h		0.23 mSv/h		$\beta$ 有		0.62 mSv/h		
5		コンクリートガラ		B		02		D		A		0.3		m <sup>2</sup>		0.23 mSv/h		0.23 mSv/h		$\beta$ 有		0.87 mSv/h		
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																								

線量測定内容			
測定日	2019年10月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	PE管	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:10	3 m <sup>2</sup>		FU-00116	1
2	1	1	ゴムホース	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:10	0.2 m <sup>2</sup>		FU-00116	1
3	1	1	廃プラ・ビニール	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:10	1 m <sup>2</sup>		FU-00116	1
4	1	1	木材・コンパネ・枕木	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:10	1 m <sup>2</sup>		FU-00116	1
5	1	1	コンクリートガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 10:10	0.3 m <sup>2</sup>		FU-00028	1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ															
①		A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—						
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類							
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他							
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—					
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—						
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
		D	伐採木												
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012317 - 0053

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月7日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	西門近傍の防護フェンス拡張に伴うMPケーブル埋設関連除却工事								
	発生場所	構外ヤード(西門周辺)					2019/10/1	2019/10/1	2019/10/1	
	作業主管G	環境モニタリンググループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G	線量測定年月日	2019/9/27	測定者		測定器名	γシンチレーション		管理番号	F1-SC-118	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無
入 欄 メ モ	3	木材類(木製ケーブルトラムほか)	A	03	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無
	4	可燃物その他	A	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.4 μSv/h	0.3 μSv/h	無
	5									
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0071
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
入 欄 メ モ	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/7 10:30	0.9 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/7 10:30	1.9 m <sup>2</sup>			1
	3	1	木材類(木製ケーブルトラムほか)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/7 10:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/7 10:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月7日	(月)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	1号機周辺ヤード・鉄塔ヤード			2019/10/1	2019/10/1	2019/10/1			
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/30	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-118			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	機器類:発電機-1台	B	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0072
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月7日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類:発電機-1台①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/7 8:05	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・UIS類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013704 - 0025

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月7日		(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Cエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Cタンクエリア					2019/9/30	2019/9/30	2019/9/30		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-21			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	連結弁(2019FU00114)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	$\beta$ 有	10 mSv/h
	2	連結弁(2019FU00122)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有	10 mSv/h
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。No. 1,2は借用6m3コンテナで廃棄、本管理表コンテナ2台分の申請。 外面 No1 0.02mSv No2 0.02mSv											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0073
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00114)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 8:50	6 m <sup>3</sup>		FU-00114	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00122)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/7 8:50	6 m <sup>3</sup>		FU-00122	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア					2019/10/1	2019/10/1		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	G No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	10tダンプ(5m3) コンクリートガラ搬出いたします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0074
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月8日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/8 8:25	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	B南エリア						2019/10/1	2019/10/1	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/30	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-139	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
									$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	$\beta$ 有 0.035 mSv/h
	2	不燃物	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有 0.05 mSv/h
3	不燃物	B	09	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h	
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	ZK-02386 不燃物 ZK-02389 不燃物 ZK-02374 不燃物 コンテナ 計3基 10tトレーラー1台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0075
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月8日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-115	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02386)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 8:05	6 m <sup>3</sup>		ZK-02386	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02389)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 8:05	6 m <sup>3</sup>		ZK-02389	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02374)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 8:05	6 m <sup>3</sup>		ZK-02374	1
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア						2019/10/1	2019/10/1	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/9/27	測定者				測定器名	ICWBL	管理番号	
								T-ICWBL-04		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	10tダンプ(5m3) コンクリートガラ搬出いたします。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	10	—	0076	2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月8日		8:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2019年10月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-115	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/10/8 9:05	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時		2019年10月8日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所		B南エリア						2019/10/1	2019/10/1	2019/10/1
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社						担当者	TEL			
	線量測定年月日		2019/9/20		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号 FI-ICWBL-139
	No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
			①	②	③						
	1 不燃物		B	02	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h
	2 不燃物		B	09	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
3 不燃物		B	02	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h	
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
ZK-02378 不燃物 ZK-02391 不燃物 ZK-02392 不燃物 コンテナ 計3基 10tトレーラー1台											

固体廃棄物管理G記入欄		受付
受付番号		
廃2019	10	0077
調整後保管日時		2019年10月8日 9:30
【保管時の指示事項等】		

線量測定内容				
測定日	2019年10月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-115	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02378)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/8 9:20	6 m <sup>3</sup>		ZK-02378	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02391)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/8 9:20	6 m <sup>3</sup>		ZK-02391	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02392)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/8 9:20	6 m <sup>3</sup>		ZK-02392	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ  
テ  
ゴ  
リ

①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
			D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②				状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	残Co処理エリア						2019/10/1	2019/10/1
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/9/27	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
10tダンプ(5m3) コンクリートガラ搬出いたします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0078
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/10 8:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日	(木)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	残Co処理エリア			2019/10/1	2019/10/1	2019/10/1				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/9/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
10tダンプ(5m3) コンクリートガラ搬出いたします。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	.0079
				2019/10/1
調整後保管日時		2019年10月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/10/10 9:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月7日		(月)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)						2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/30	測定者		測定器名	ICW	管理番号	FI-ICW-282			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃・木材類(6m3コンテナZK-02540)	A	03	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
	2	可燃・木材類(6m3コンテナFU-00077)	A	03	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
	3	可燃・木材類(6m3コンテナZK-02544)	A	03	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
	4	可燃・木材類(6m3コンテナZK-02472)	A	03	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	5	可燃・木材類(6m3コンテナZK-02571)	A	03	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0080
				2019/10/2
調整後保管日時		2019年10月7日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02540)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/7 9:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02540	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00077)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/7 9:30	6 m <sup>3</sup>		FU-00077	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02544)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/7 9:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02544	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02472)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/7 9:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02472	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02571)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/7 9:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02571	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015301 - 0015

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 純水タンク用水位計ケーブルトラフ設置工事									
	発生場所	3号 CSTタンク脇						2019/10/1	2019/10/1	2019/10/1	
	作業主管 G	原子炉冷却グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G	線量測定年月日	2019/9/30		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-88
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	ボルト類			B 01 D B	0.2 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
	2	番線、クランプ類			B 01 D B	0.2 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
3	ケーブル類			B 08 D B	0.1 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 mSv/h	無			
4	金属ガラ、計器くず			B 01 D B	0.3 m <sup>2</sup>	2 μSv/h	2 mSv/h	無			
5					m <sup>2</sup>						
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0081
				2019/10/2
調整後保管日時		2019年10月8日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ボルト類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
2	1	1	番線、クランプ類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
3	1	1	ケーブル類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 10:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
4	1	1	金属ガラ、計器くず ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 10:20	0.3 m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月10日	(木)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	B南エリア			2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/10/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 FI-ICWBL-139				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.04 mSv/h
	2	不燃物	B	09	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	$\beta$ 有	0.035 mSv/h
	3	不燃物	B	02	D	B	6 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.045 mSv/h
	4						m <sup>3</sup>				
メ モ	ZK-02295 不燃物 ZK-02303 不燃物 ZK-02388 不燃物 コンテナ 計3基 10tトレーラー1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0083
				2019/10/2
調整後保管日時		2019年10月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02295)	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/10 8:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02295	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02303)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/10 8:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02303	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02388)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/10 8:15	6 m <sup>3</sup>		ZK-02388	1
									m <sup>3</sup>			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリブレイス関連工事								
	発生場所	Eエリア(P-26)					2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-142		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	キムタオール・紙	A	01	D	B	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有 0.035 mSv/h
	2	木材	A	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有 0.012 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0087
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月8日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月8日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-115	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオール・紙	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 9:30	1 m <sup>2</sup>		FU-00142	1
	2	1	木材	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 9:30	0.5 m <sup>2</sup>		FU-00142	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=20 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=20 $\mu$ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月8日		(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	Eエリア(P-26)					2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-142		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	ロープ・フレコン袋他	A	04	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	8 mSv/h
2	プラ・ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	0.4 mSv/h
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0088
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月8日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ロープ・フレコン袋他	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/10/8 9:40	1 m <sup>3</sup>		FU-00142	1
	2	1	プラ・ビニール類	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	100 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/8 9:40	1.5 m <sup>3</sup>		FU-00142	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=30 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=30 $\mu$ Sv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eエリア(P-26)						2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-142			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	足場材・鉄板・ボルト・クランプ他	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	$\beta$ 有	8 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0089
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-8	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	足場材・鉄板・ボルト・クランプ他	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	800 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/9 9:10	1.7 m <sup>2</sup>		FU-00028	1
	1	2	足場材・鉄板・ボルト・クランプ他	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	800 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/9 9:10	1 m <sup>2</sup>		FU-00183G	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	FU-00028表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=45 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=45 $\mu$ Sv/h FU-00183G表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=40 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=40 $\mu$ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0027																																			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年10月9日		(水)	9:30		承認	審査	作成																																			
	作業件名		H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事																																										
	発生場所		Eエリア(P-26)						2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2																																		
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員	TEL																																					
	元請会社						担当者	TEL																																					
	線量測定年月日		2019/9/12		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-142																																		
	No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																			
			①	②	③																																								
	1		ゴム板・パッキン			3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	$\beta$ 有	10 mSv/h																																			
	2		難燃シート			2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	0.1 mSv/h																																			
3					m <sup>2</sup>																																								
4					m <sup>2</sup>																																								
5					m <sup>2</sup>																																								
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年10月9日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2019年10月9日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-6		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2019年10月9日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICWBL	F1-ICWBL-6																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																	
	1	1	ゴム板・パッキン	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/9 9:15	1 m <sup>2</sup>		FU-00142	1																																	
	2	1	難燃シート	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/10/9 9:15	0.5 m <sup>2</sup>		FU-00142	1																																	
									m <sup>2</sup>																																				
									m <sup>2</sup>																																				
									m <sup>2</sup>																																				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
メ モ 上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=40 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=40 $\mu$ Sv/h																																													
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—																																				
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —																																					
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類																																					
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他																																					
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —																																					
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —																																					
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —																																					
		D	伐採木																																										
		②	状 態	D: 乾燥, W: 湿気有	③	履 歴	A: 「1F構内にあった物」, B: 「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																																													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日	(木)	8:30	承認	審査	作成								
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事													
	発生場所	Eエリア(P-26)			2019/10/2	2019/10/2	2019/10/2								
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL									
	元請会社			担当者		TEL									
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号								
							F1-ICWBL-142								
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③											
	1	連結管・バルブ・フランジ	B	12	D	B	4	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.1	mSv/h	$\beta$ 有	80	mSv/h
	2	ボルト・クランプ・足場材	B	01	D	B	1	m <sup>2</sup>	0.002	mSv/h	0.1	mSv/h	$\beta$ 有	25	mSv/h
	3							m <sup>2</sup>							
	4							m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>								
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	10	—	0091
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 $\mu$ Sv/h	80 $\mu$ Sv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/10/10 8:40	3 m <sup>2</sup>		FU-00097	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ 上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=10  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=10  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8015602 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月11日	(金)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F サブドレン浄化用フィルタ交換他業務委託(2019)									
	発生場所	サブドレン他浄化設備			2019/10/2	2019/9/30	2019/9/30				
	作業主管G	水処理計画グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/8/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-118				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0092
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/11 10:10	1.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/11 10:10	1.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/10/11 10:10	0.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015303 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F1 PCVアクセスルート構築										
	発生場所	GT-19(旧 棟ゴミ置き場)						2019/10/3	2019/10/3	2019/10/3		
	作業主管G	燃料調査グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/10/2	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICBL-087		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	紙・ウエス類			A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	プラ・ポリ・ビニール類			A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3								m <sup>2</sup>				
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
メモ	企業殿持込み											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0096
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/10 11:00	1.4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラ・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2019/10/10 11:00	3.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



計上No.	6015303	-	0006
-------	---------	---	------

線量測定内容			
測定日	2019年10月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去									
	発生場所	1～4号機						2019/10/3	2019/10/3	2019/10/3	
	作業主管G	通信システムグループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/8/30		測定者			測定器名	PS		管理番号	F1-PS-203
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ケーブル類	B	08	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無	
	4	難燃物その他	C	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0100
				2019/10/3
調整後保管日時		2019年10月11日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2		ICW	F1-ICW-393	
3		ICWBL	F1-ICWBL-126	
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ケーブル類①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP(屋外)	2019/10/11 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(→H)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2019/10/11 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			3
	3	1	可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2019/10/11 11:00	0.4 m <sup>2</sup>			2
	4	1	難燃物その他(→H)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2019/10/11 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			3
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013210 - 0001																																			
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年10月8日		(火)	9:00		承認	審査	作成																																			
	作業件名		#1ガレキ撤去工事																																										
	発生場所		1号機周辺ヤード・鉄塔ヤード					2019/10/3	2019/10/3	2019/10/3																																			
	作業主管G		1号機建築グループ			監理員		TEL																																					
	元請会社					担当者		TEL																																					
	線量測定年月日		2019/10/3		測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-118																																			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																			
	1	金属ガラ		B	01	D	B	4.9 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無																																		
	2	制御盤端子・ブレーカー類		B	03	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無																																		
	3							m <sup>2</sup>																																					
4							m <sup>2</sup>																																						
5							m <sup>2</sup>																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2019年10月8日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-115</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2019年10月8日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-115		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2019年10月8日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICWBL	F1-ICWBL-115																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.																																	
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 9:00	2.5 m <sup>2</sup>			1																																	
	2	1	制御盤端子・ブレーカー類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/8 9:00	0.1 m <sup>2</sup>			1																																	
									m <sup>2</sup>																																				
									m <sup>2</sup>																																				
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
メ モ																																													
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—																																
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																																													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0020

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	3u キャスク取扱構内移送業務委託								
	発生場所	構内 事務所(GT-25)					2019/10/3	2019/10/3	2019/10/3	
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICW-407		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 企業殿持込み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0102
				2019/10/4
調整後保管日時		2019年10月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/10/10 9:50	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウイス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月9日		(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)					2019/10/4	2019/10/4	2019/10/4		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/10/3	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ(6m3コンテナFU-00158G)	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	2	金属ガラ(6m3コンテナZK-02584)	B	01	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	3	不燃その他(6m3コンテナFU-00159G)	B	10	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
	4	不燃その他(6m3コンテナFU-00160G)	B	10	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.07 mSv/h
	5	不燃その他(6m3コンテナZK-02598)	B	10	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0103
				2019/10/4
調整後保管日時		2019年10月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00158G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00158G	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02584)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:20	6 m <sup>3</sup>		ZK-02584	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00159G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00159G	1
	4	1	6m3コンテナ(FU-00160G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:20	6 m <sup>3</sup>		FU-00160G	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02598)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/10/9 9:20	6 m <sup>3</sup>		ZK-02598	1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013107 - 0002										
作業主	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	8:00		承認		審査		作成											
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(2019年度)																				
	発生場所	A系排水路						2019/10/4		2019/10/4		2019/10/4										
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員		TEL														
	元請会社					担当者		TEL														
管	線量測定年月日	2019/9/24		測定者		測定器名		ICW		管理番号		F1-ICWBL-118										
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率										
						① ② ③																
入	1		不燃物その他		B 04 W A		1 m <sup>3</sup>		0.01 mSv/h		0.2 mSv/h		β・α 汚染の有無 β有									
	2						m <sup>3</sup>															
	3						m <sup>3</sup>															
	4						m <sup>3</sup>															
	5						m <sup>3</sup>															
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																						
メ モ																						
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	不燃物その他		50 μSv/h		50 μSv/h		150 μSv/h		エリアW1		2019/10/11 8:10		1 m <sup>3</sup>				FU-00097		1	
															m <sup>3</sup>							
															m <sup>3</sup>							
															m <sup>3</sup>							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=70 μSv/h, β + γ 線量率=70 μSv/h																						
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —										
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —										
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
	C	難燃物	11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		16 —									
01 ゴム類			02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		06 —											
D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		06 —										
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		06 —										
②		状 態		D: 乾燥, W: 湿気有		③		履 歴		A: 「1F構内にあった物」, B: 「工事のために持ち込まれた物」												
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																						
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																						
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。																						
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012321 - 0008	
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託									
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/10/4	2019/10/4	2019/10/4	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/4		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-67
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	A	0.3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0105
				2019/10/4
調整後保管日時		2019年10月11日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧			
	1	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2019/10/11 10:30	0.1	m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2019/10/11 10:30	0.5	m <sup>2</sup>			1
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年10月11日		(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託									
	発生場所	大型機器点検建屋					2019/10/4	2019/10/4	2019/10/4		
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/10/4	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-67		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無 β有	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物その他	B	10	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h		13 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	10	—	0106	2019/10/4
調整後保管日時		2019年10月11日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2019年10月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	8 mSv/h	エリアW1	2019/10/11 10:40	0.5 m <sup>2</sup>		FU-00097	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=70 μSv/h, β+γ線量率=70 μSv/h											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年10月10日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託									
	発生場所	大型機器点検建屋					2019/10/9	2019/10/9			
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
G	線量測定年月日	2019/10/4	測定者		測定器名	ICWBL ICW	管理番号	F1-ICWBL-67F1ICW-139			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	TEPU-170020 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	9 mSv/h
	2	TEPU-170070 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	7 mSv/h
3	TEPU-170037 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	2.5 mSv/h	
4	TEPU-170298 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	8 mSv/h	
5	TEPU-170038 フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	2 mSv/h	
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 コンテナ表面線量率TEPU-170020、170070、170037、170298、170038、各0.001mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0107
				2019/10/9
調整後保管日時		2019年10月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年10月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-90
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	TEPU-170020 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/10/10 11:00	21 m <sup>2</sup>		170020	1
2	1	1	TEPU-170070 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/10/10 9:05	21 m <sup>2</sup>		170070	1
3	1	1	TEPU-170037 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/10/10 9:40	21 m <sup>2</sup>		170037	1
4	1	1	TEPU-170298 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/10/10 11:45	21 m <sup>2</sup>		170298	1
5	1	1	TEPU-170038 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/10/10 10:20	21 m <sup>2</sup>		170038	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0040

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年10月10日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	タービン建屋内滞留残水排水設備設置(電気工事)								
	発生場所	1F-1~4号機 タービン建屋			2019/10/7	2019/10/4	2019/10/4			
	作業主管G	設備電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/10/4	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-1CWEL-109		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	07	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	養生シート	B	07	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	吸水ポリマー	B	07	W	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
5	鉄くず	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	10	—	0108
				2019/10/7
調整後保管日時		2019年10月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年10月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h									
	1	1	コンクリートガラ	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアW1	2019/10/10 10:30	0.2	m <sup>2</sup>		FU-00281	1
	2	1	コンクリートガラ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/10/10 10:30	0.5	m <sup>2</sup>			1
	3	1	養生シート	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアW1	2019/10/10 10:30	0.5	m <sup>2</sup>		FU-00281	1
	4	1	吸水ポリマー	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアW1	2019/10/10 10:30	0.2	m <sup>2</sup>		FU-00281	1
	5	1	鉄くず①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/10/10 10:30	8	m <sup>2</sup>			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

No.1,3,4の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=7  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=7  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。